



# 三川っ子



令和2年7月31日  
旭市立三川小学校

明日から夏休みです。4月からここまでの間、感染症対策をはじめ、保護者の皆様には多岐にわたりご協力をいただきまして、ありがとうございました。子どもたちも意識を高くもって生活できました。いつもと違う休みになりますが、有意義に過ごしてほしいと思います。

夏休み期間中、保護者の皆様はご多用のことと思いますが、子どもたちの活動が充実するよう、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 【情報モラル教室】7月22日（水）、28日（火）

5年生、6年生を対象に情報モラル教室を行いました。旭市教育委員会学校教育課、大目智志指導主事を講師としてお招きし、子どもたちの発達段階の特性の理解から始まり、SNSのトラブル事例やブルーライトの影響、スマホと学力の関係などの知識や、スマホは1時間未満の利用、家族でルールを決める、友達とルールを決める、親同士の連携強化などの携帯電話やスマートフォンの使い方についてのお話をいただきました。実際に子どもたちが利用しているアプリや家庭で設定されているルールをもとにした内容で話され、子どもたちも興味深く聞いていました。その後、保護者の方々を対象に行いました。子どもたちの現在の状況や、今、社会で問題となっている内容であり、今後の生活を考えるよい機会になったと思います。



## 三川小前信号での一コマ



朝、交通安全指導で三川小前の信号に立つことがあります。そこでは毎日のように胸に響く光景があります。元気な挨拶はもちろんですが、通行する自動車がなくなるのを待って歩行者用信号の押しボタンを押したり、個々で登校しているのですが、横断歩道のところに何人か集まるのを待って押しボタンを押したりします。さらに、横断歩道を渡り切った後に、信号で止まっている運転手さんへお辞儀をします。これらをほとんどの子どもたちが自然と行っていることに感動しています。そして、子どもたちだけではありません。三川小へ向かうために左折する自動車が、対向車で右折するのを待っている自動車に先に曲がってもらってから左折したり、子どもたちの横を通るときはさらにスピードを落としたりする光景があります。このように子どもたちが優しく成長しているのは保護者や地域の皆様のおかげだと心より感謝申し上げます。

朝、交通安全指導で三川小前の信号に立つことがあります。そこでは毎日のように胸に響く光景があります。元気な挨拶はもちろんですが、通行する自動車がなくなるのを待って歩行者用信号の押しボタンを押したり、個々で登校しているのですが、横断歩道のところに何人か集まるのを待って押しボタンを押したりします。さらに、横断歩道を渡り切った後に、信号で止まっている運転手さんへお辞儀をします。これらをほとんどの子どもたちが自然と行っていることに感動しています。そして、子どもたちだけではありません。三川小へ向かうために左折する自動車が、対向車で右折するのを待っている自動車に先に曲がってもらってから左折したり、子どもたちの横を通るときはさらにスピードを落としたりする光景があります。このように子どもたちが優しく成長しているのは保護者や地域の皆様のおかげだと心より感謝申し上げます。



## お知らせ～家庭学習のすすめ～

今年約3週間の夏休みになります。各学年それぞれで課題が出されていると思いますが、子どもたちが自主的、計画的に行えるとよいと思います。何か学習面についてご不明な点がありましたら遠慮なく学校へ連絡してください。

さて、4月から臨時休業ということで大変ご迷惑をおかけしました。その期間中の学習も、プリント等の課題だけでなく、インターネットを利用した学習や千葉県のホームページの利用などを考えていただきありがとうございます。引き続き、この夏休みも活用できるとよいと思います。

千葉県のホームページ内の「家庭学習のすすめ」は、子どもたちの学力向上をめざし、家庭でできる実践事例等を中心にまとめています。

また、家庭教育（子育て）応援サイトもあります。「親力アップ いきいき子育て広場」というサイトは、家庭教育（子育て）の情報を共有することで、千葉県の保護者を応援するサイトです。もうすでにご存じかもしれませんが、下図のような家庭教育や生活のヒントが数多く載せられていますのでぜひ、ご活用いただければと思います。



<h3>1. 子どもとの会話や過ごし方</h3> <p>家庭は子どもにとって最も心安らぐ居場所です。そして、家族のあいだで交わされる温かい会話やだんらんを通して多くのことを学んでいきます。日頃から家族のコミュニケーションを大切にしましょう。</p> <p><b>家族で会話をする機会を増やしましょう</b></p> <p>まずは「あいさつ」から…気持ちのよいあいさつでお手本を</p> <p>「おはよう」「いってらっしゃい」「ただいま」「おかえり」「おやすみ」など気持ちの良いあいさつは、家族の絆を深めます。</p> <p>「いただきます」「ごちそうさま」「ありがとう」は感謝の気持ちを育てます。「ごめんさい」は素直な心を育てます。</p> <p><b>あいさつは、人間関係を築く出発点です。親が自分からあいさつする姿を見せて、あいさつから受ける「気持ちよさ」や「うれしさ」を子どもに伝えていきましょう。</b></p> <p><b>一日の出来事を聞いてあげていますか？</b></p> <p>「うれしかったこと」「楽しかったこと」「いやだったこと」「くやしかったこと」など子どもの話を聞いてあげることで、安心して何でも話せる信頼関係を築くことができます。</p> <p><b>子どもと一日の出来事を楽しく話すなど、家族の会話を増やすことで家族の絆が深まります。お互いに考えていることを話し合う時間を大切にしましょう。</b></p> <p><b>親子でふれあう機会を増やしましょう</b></p> <p><b>家族で過ごす時間を作っていますか？</b></p> <p>忙しい毎日の中では、家族みんなで過ごす時間が少なくなりがちです。家族が一緒にいる時間をつくることで、夫婦や親子の会話が増え、コミュニケーションが深まります。また、一緒に家事をしたり、家族でできる何かに取り組んだりすることで、家族の一員として支え合っているということを実感します。</p> <p><b>親子と一緒に遊ぶ、食事をする、お風呂に入るなど、普段の生活の中でできるだけ親子のふれあう時間を持つことを心がけましょう。時間は短くても、コミュニケーションをとることを意識しましょう。</b></p>	<h3>2. 心の成長</h3> <p><b>家庭で、地域で、学校で、人との「つながり」を大切にしましょう！</b></p> <p>地域での奉仕活動を行ったり、体験活動などをしたりすることで、豊かな心が育ちます。また、このような活動を継続すると、社会の一員として自覚が芽生えていきます。家庭・学校・地域で人とのつながりを大切に、豊かな心を育みましょう。</p> <p><b>家庭で、「家族の心のつながり」を大切にしていますか？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ あいさつの実践からはじめ、親子での対話の場を設けていきましょう。まず、子どもの話に耳を傾けることから始めましょう。努力を認めてくれる、困ったときは相談できると感じたとき、親子の真実な対話が生れます。</li> <li>★ 地域の行事や体験活動などに積極的に参加し、共通の話題を持ちましょう。</li> <li>★ 家族みんなで過ごす楽しさ、愛情による絆を感じると、自分を大切に、他人を思いやる心が育ちます。</li> <li>★ 子どもにとって「お手伝い」は「家族の一員として自分が期待されている」ということを自覚する良い機会です。また、それを継続することで子どもの責任感が育ちます。</li> <li>★ 自然体験活動をととして豊かな感性が育ちます。</li> </ul> <p><b>「地域とのつながり」を大切にしていますか？</b></p> <p>まず、子どもと関わる大人同士が「つながり」を持つことが重要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 地域の行事に親子で参加する機会を設け、人との関わりから「豊かな人間関係」を学ぶことで、心が育ちます。</li> <li>★ 人との交流で認められ自己存在感に気が付き、人間関係づくりができます。</li> </ul> <p><b>子どもの言葉遣いは気になりますか？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 大人から子どもへ心を育む場となるために、豊かな会話がなされることが大切です。まず、家庭で正しい言葉遣いを伝えましょう。</li> <li>◆ 子どもの言葉遣いに注意をするべき立場のものとして、親の役割が強く期待されます。</li> <li>◆ あいさつは人との交流の基本、まず、あいさつのできる子を育てましょう。人と人とのコミュニケーションをする中で、正しい言葉遣いが身につきます。</li> </ul> <p><b>家庭で家族のコミュニケーションづくりを大切にしていますか？</b></p> <p>家庭で子どもと話していますか。「この頃、変わったことはない？」と語りかけてみましょう。大人が子どもの話を真剣に聞き、心をくみ取り、聞き手のお手本を示しましょう。人は言葉を使って自分の気持ちを相手に伝え、相手の心もくみ取ります。</p> <p>まず、大人がお手本を示し、丁寧な言葉を使いましょう。</p>
--	--

ご家庭におかれましても、まだまだ新型コロナウイルスの影響が大きいことと思いますが、子どもたちが新しい生活様式の中で頑張っていけるよう、応援をお願いします。

### ☆読書賞☆ ～たくさん本を読みました～

- 4年 青木陽葵さん 伊藤雛音さん 平野咲來さん 大藤希海さん 東海林優々さん  
青柳美海さん
- 5年 平野夏輝さん 近藤愛莉さん
- 6年 宮内優朱さん 往古 倭さん 向後芽依さん 鈴木 俊さん、加瀬 湊さん  
平野 友葵さん、菱木 美海さん

※ 夏休みを利用してたくさん本と出会ってください。